

山本敬介議員

3 木質バイオマス

問 今年からトマムでも集落対策を行うのですが、ガソリンスタンドや商店の問題もあり、住民の皆さんには不安を抱いています。集落対策の議論は、できるだけ早く始めるべきだと思いますが、伺います。

中村村長 体制がどれ次第、なるべく早くトマム地区の人と本当に膝を交えて話し合いをしていきたいと考えています。

木質バイオマスは、地域全体の環境対策として、大きな視点で循環型社会を目指していくべきと思います。昨年の執行方針では横断的なプロジェクトチームを作つて取り組んでいくということでしたが、今後の進め方について伺います。

中村村長 循環型社会を作つていくためには、必要に応じて横断的な組織も必要と考えています。

4 トマムリゾート

問 トマムリゾートは村が長い歳月をかけて作った一大産業です。そこにある経済をどうやって村の農業、商工業、林産物も含む林業などに安定して落としていくか、考えを伺います。

中村村長 リゾート抜きには、

問 今年度農産物の6次化を目指して、双民館にチーズの熟成庫などを整備するということです。道具だけではなく、体制を作るべきだと思いますが伺います。

中村村長

村はどういう形で6次化を支援をすればいいのか、希望者が出てくれば積極的に支援していきたいと考えています。

5 ゆるキャラの作成

問 ゆるキャラの作成に村民が参加・参画していくことが大切です。どのような方法で作成していくのか伺います。

中村村長

ふるさと祭りの一環として、キャラクターの選考委員会を設置して決めると言っています。選考委員は10人ほどで、村、商工会、観光協会、リゾート、子ども会、若者の代表をメンバーに考えているようです。

6 PAにアンテナショップを

問 占冠PAに上水道を引くことのことですが、占冠PAの公共性を増すために、村のアンテナショップを出すべきではないかと考えますが、伺います。

中村村長

ネクスコからは、沿線市町村の宣伝をぜひしてくださいと言われており、そのような要素は必要だと考えています。

見がしつかり反映されることが重要と思いますが伺います。

中村村長

子ども子育て委員会の委員は10人以内で、保護者、事業主、労働者、子ども子育て支援に関する事業の従事者、学識経験者、その他村長が必要と認める人で考えてます。

8 避難路の再検討を

問 避難路は専門家のコンサルティングを受けた上で、議会と行政の合意を見て進めるべきと思いますが、再度村長の意見を伺います。

中村村長

村として一定の方向は出しています。本当に再検討する必要があれば、専門家の意見を聞く必要もあるかと思います。急傾斜地の特別警戒区域の指定を解除し、作工物も可能な状況を作りたいと考えております。もう一度検討させていただければと思います。

7 子ども・子育て支援事業計画の策定

問 子ども・子育て支援事業計画の策定には、子育て世代の意